



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社  
コード番号 2329 URL <http://www.tfc.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 清隆  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 伊藤 良平 TEL 03-5414-0211  
四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,982	△1.9	610	—	800	456.3	414	—
2019年3月期第1四半期	14,253	△1.8	△46	—	143	△85.1	△35	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 402百万円 (584.8%) 2019年3月期第1四半期 58百万円 (△93.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.23	—
2019年3月期第1四半期	△0.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	91,575	69,675	75.6
2019年3月期	91,854	70,003	75.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 69,235百万円 2019年3月期 69,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—				
2020年3月期（予想）		0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,128	1.0	2,549	55.3	2,774	31.7	1,382	—	30.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	46,735,334株	2019年3月期	46,735,334株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,786,780株	2019年3月期	1,786,780株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	44,948,554株	2019年3月期1Q	44,948,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高13,982百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益610百万円（前年同期は46百万円の営業損失）、経常利益800百万円（前年同期比456.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益414百万円（前年同期は35百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ① 広告プロダクション

広告プロダクションの売上高は、前年同期に比べ5.4%減の5,702百万円となり、営業利益は前年同期に比べ16.2%増の563百万円となりました。CM制作部門において受注が前年同期に比べて減少し、減収となりましたが、利益率の改善により、増益となりました。

## ② コンテンツプロダクション

コンテンツプロダクションの売上高は、前年同期に比べ6.1%増の3,128百万円となり、営業利益は前年同期に比べ409.1%増の225百万円となりました。音響字幕制作部門の受注が好調なこと、またデジタルプロダクション部門の事業再構築による費用減も寄与し、増収増益となりました。

## ③ メディア

メディアの売上高は、前年同期に比べ9.7%減の3,647百万円となり、営業損失は24百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。前年同期にあった大型イベントが当第1四半期にはなかったことや、関連チャンネルの再編に伴い売上が減少しました。また4K関連設備の償却費の負担増等がありましたが、既存領域の効率化による費用減により、営業損失は前年同期並みになりました。

## ④ プロパティ

プロパティの売上高は、前年同期に比べ20.4%増の1,686百万円となり、営業利益は163百万円（前年同期は261百万円の営業損失）となりました。『牙狼<GARO>』関連の売上が増加したことに加え、前年同期の大型映画作品やアニメ作品の償却費等が、当第1四半期は発生しなかったことにより、増収増益となりました。

## ⑤ 物販

物販の売上高は、前年同期に比べ2.6%減の1,580百万円となり、営業利益は7百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。業務用記録メディアの販売減少により売上は減少しましたが、各部門での利益率改善等により、増益となりました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、91,575百万円であり、前連結会計年度末に比べ279百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,339百万円及び仕掛品の増加1,039百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、21,899百万円であり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加いたしました。この主な要因は、買掛金の減少347百万円、未払法人税等の減少335百万円、未払金の増加350百万円及び前受金の増加392百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、69,675百万円であり、前連結会計年度末に比べ328百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の減少304百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期に比べて、減収増益となっておりますが、前年同期の大型映画作品やアニメ作品の償却費が発生しなかったことが、その主な要因です。本件については既に連結業績予想には織り込み済みでありますので、2019年5月17日に発表済の2020年3月期の業績予想については、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,879	27,167
受取手形及び売掛金	17,247	15,907
有価証券	831	840
映像使用权	5,697	6,448
仕掛品	2,905	3,945
その他のたな卸資産	610	583
その他	830	919
貸倒引当金	△27	△29
流動資産合計	55,974	55,783
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,967	13,200
その他(純額)	7,052	7,122
有形固定資産合計	20,019	20,323
無形固定資産		
のれん	111	83
その他	641	721
無形固定資産合計	752	804
投資その他の資産		
投資有価証券	12,849	12,599
その他	2,484	2,290
貸倒引当金	△227	△226
投資その他の資産合計	15,107	14,662
固定資産合計	35,879	35,791
資産合計	91,854	91,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,740	10,392
短期借入金	990	1,090
未払法人税等	683	347
賞与引当金	785	460
その他	3,755	4,778
流動負債合計	16,955	17,070
固定負債		
役員退職慰労引当金	426	440
退職給付に係る負債	2,736	2,744
その他	1,733	1,644
固定負債合計	4,895	4,829
負債合計	21,851	21,899
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,487	2,487
資本剰余金	3,731	3,731
利益剰余金	62,352	62,048
自己株式	△1,728	△1,728
株主資本合計	66,843	66,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,649	3,578
為替換算調整勘定	△334	△334
退職給付に係る調整累計額	△598	△548
その他の包括利益累計額合計	2,717	2,695
非支配株主持分	442	439
純資産合計	70,003	69,675
負債純資産合計	91,854	91,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,253	13,982
売上原価	11,438	10,497
売上総利益	2,814	3,485
販売費及び一般管理費	2,861	2,875
営業利益又は営業損失(△)	△46	610
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	55	66
持分法による投資利益	27	—
為替差益	28	32
出資金運用益	36	130
経営指導料	25	25
その他	23	27
営業外収益合計	201	290
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	—	87
支払手数料	6	6
その他	2	3
営業外費用合計	10	99
経常利益	143	800
特別損失		
減損損失	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益	118	800
法人税等	166	377
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48	423
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	8
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35	414

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48	423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	445	△70
為替換算調整勘定	△359	△0
退職給付に係る調整額	30	49
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△0
その他の包括利益合計	106	△21
四半期包括利益	58	402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71	393
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	5,926	2,021	3,948	862	1,494	14,253	—	14,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	103	927	89	538	128	1,786	△1,786	—
計	6,030	2,948	4,038	1,400	1,622	16,040	△1,786	14,253
セグメント利益又は損失 (△)	484	44	△12	△261	△2	253	△300	△46

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△300百万円には、セグメント間取引消去△82百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)434百万円及び全社費用△652百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	5,638	2,188	3,574	1,146	1,433	13,982	—	13,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63	939	73	539	147	1,763	△1,763	—
計	5,702	3,128	3,647	1,686	1,580	15,746	△1,763	13,982
セグメント利益又は損失 (△)	563	225	△24	163	7	936	△325	610

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去△69百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)432百万円及び全社費用△689百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、従来「広告プロダクション」セグメントに含まれていたプロモーション事業の一部を「メディア」セグメントに移行しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。